

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 98



令和7年2月7日

今月のキーワード

下野市英語指導者研修会

各学校の取組

令和6年度 第2回 下野市英語指導者研修会

1月21日(火)に、古山小学校において第2回下野市英語指導者研修会を開催しました。5年3組において、久世先生とALT ケイコ先生による研究授業を行いました。東京家政大学 太田 洋先生を講師にお迎えし、指導・講話をいただきました。会場校の先生方には、大変お世話になり、ありがとうございました。

単元名：Unit7 What would you like? (Here We Go! 5)

本時の目標：設定された状況に合わせて、料理を注文し合ったり、値段を尋ね合ったりすることができる。

【授業の流れ】①あいさつ→②めあての確認→③表現の確認→④教師のデモンストレーション→ペア活動1→中間発表→ペア活動2→中間発表→ペア活動3→発表→⑤振り返り



デモンストレーションの様子



ペア活動の様子

A: What would you like?

B: I'd like ().

A: How much is it?

B: It's () yen.



ペア活動で使用したフレーズ

ポイント①「目的・場面・状況の設定」

今回の授業では、「担任の先生の誕生日パーティーをすることになりました。手持ちは1,000円です。」という場面設定で、やり取りを行いました。児童は、担任の先生の好きな食べ物を予想し、限られた金額の中で何を買おうか思考を働かせながら活動することができました。

ポイント②「デモンストレーション」

教師のデモンストレーションでは、設定金額を超えてしまった場合のやり取りの例が示されました。教師がインプットを行ったことで、実際に「cancel」というキーワードを活用しながら、やり取りを行う児童の姿が見られました。

ポイント③「中間発表」

中間発表では、やり取りのポイントや発表したペアのよかった点等を確認しました。買った食べ物が好きかどうか、実際に担任の先生に確認する場面もありました。また、3回目の活動時間を短くすることで、よりスムーズなやり取りができるよう工夫されていました。

～太田先生の講話より～

「目的・場面・状況」の設定では、**児童生徒の「～たい」(聞きたい、読みたい、話したい、書きたい)を作ることが大切です。**また、教師がデモンストレーションを工夫して、児童生徒にインプットを行うことがアウトプットにつながります。ポイントとなる表現を繰り返し聞かせることが大切です。



「英語でコミュニケーションDAY」

各校の取組紹介



石橋小学校

ゲームやクイズ、プレゼンテーションなど様々な活動を通して、全学年がALTと交流しました。



南河内小中学校

7・8年生が活動を行いました。グループの仲間と協力して、英語でのやり取りに挑戦しました。



緑小学校

ゲームやクイズ、チャットタイムやプレゼンテーションなど、全学年が様々な活動に挑戦しました。



国分寺東小学校

2・4・6年生が活動を行いました。業間には、体育館でクイズを行い、全学年がALTと交流しました。



祇園小学校

4～6年生が活動を行いました。ゲームやクイズ、チャットタイムなど様々な活動に挑戦しました。



南河内第二中学校

1年生は「大切なもの」、2年生は「職場体験」について発表し、英語でのやり取りを行いました。



石橋北小学校

5年生は、インタビュー活動に挑戦しました。6年生は、買い物や各国のクイズなどの活動を行いました。

今年度も、市内全学校において「英語でコミュニケーションDAY」を実施することができました。ALTとの活動は、児童生徒が外国の文化を学んだり、学習の成果を確認したりするよい機会となりました。各学校におきましては、事前の準備や時間割の調整等にご協力いただきありがとうございました。



文責 石崎 真清